



# UACJ

*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

# 美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

取締役 常務執行役員  
サステナビリティ推進本部長  
田中 信二

2023年12月7日  
株式会社UACJ



# UACJが目指す“軽やかな世界”へ導く羅針盤

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

Environmental Sustainability / 緑豊かな青い地球

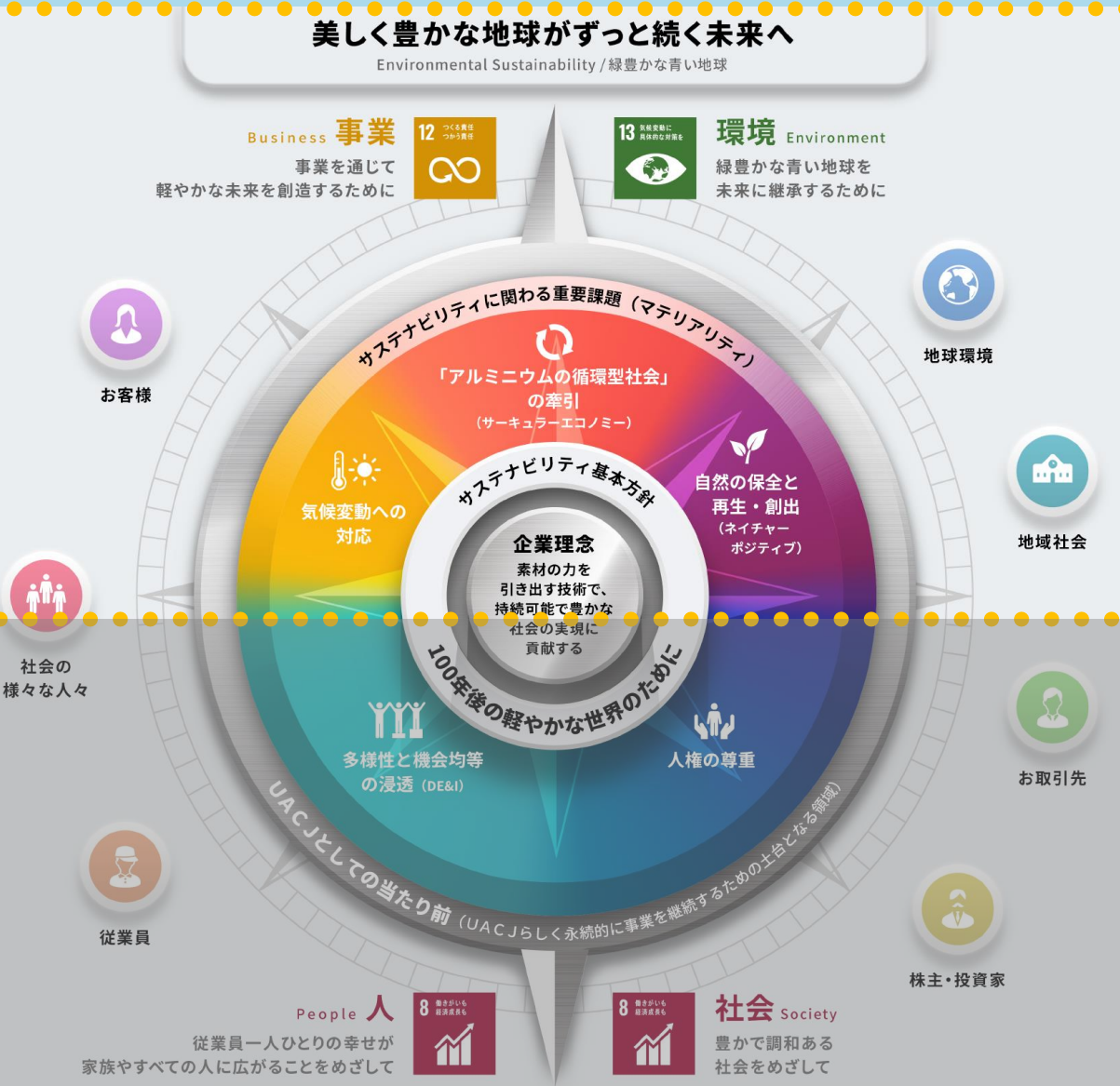
Business 事業

事業を通じて  
軽やかな未来を創造するために



環境 Environment

緑豊かな青い地球を  
未来に継承するために



誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

Well-being / ウェルビーイング

## 100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。  
自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。  
同じものとして、何度でも生まれ変わることができる  
この特徴は、アルミニウムならではの。  
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を  
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、  
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に  
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い  
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、  
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、  
ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。

未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。  
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

# 美しく豊かな地球がずっと続く未来へ



## UACJグループの考える環境コンセプト

### 緑豊かな青い地球に感謝し、アルミニウムをさらに究めて、 持続可能な社会形成に貢献して参ります

アルミニウムは毎日の生活になくてはならない身近なライフラインを支える素材であるとともに、モビリティ、宇宙産業、ヘルスケア、IT など幅広い分野で活躍する素材。アルミニウムを使うことで、資源エネルギーの節減や環境負荷を減らせるなど、さまざまな可能性を秘めています。

そんなアルミニウムの生産に、多くの地球の資源を利用してきたUACJだからこそ、環境への取り組みには従来から真摯に向き合ってきました。環境関連の法令や基準を遵守するのはもちろんのこと、取水量の削減や利活用など、「水」「土壌」「大気」「資源エネルギー」といったあらゆる観点から私たちの“当たり前”として取り組んできました。

そして今、私たちは、社会や地球といった私たちを取り囲むすべてに視野を広げています。たとえば、資源循環の心臓の役割を果たすこと。バリューチェーン全体で温暖化ガス排出量を最小化し、カーボンニュートラルを実現すること。さらに、水資源など自然を保護することに留まらず、再生・創出につながるポジティブな活動を展開すること。

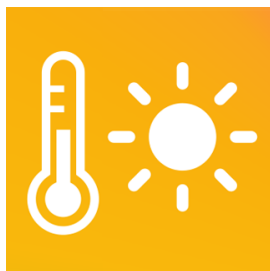
私たちUACJグループは、アルミニウムの可能性をさらに追及して、環境への取り組みを続けていきたいと思えます。未来の子どもたちに軽やかで豊かな社会を渡すために。

## 「美しく豊かな地球がずっと続く未来」のために取り組んでいく重要課題



### 「アルミニウムの循環型社会」の牽引（サーキュラーエコノミー）

アルミニウム循環によるサーキュラーエコノミーの推進は、気候変動や自然の保全の課題を解決するために必須であり、UACJグループ全体でアルミニウムの可能性をさらに追及することは、社会や環境に大きく貢献できる



### 気候変動への対応

急激な気候変動への対応は社会全体で取り組むべき喫緊の課題であり、自社での取り組みはもちろんのこと、アルミニウムの利活用の機会拡大に取り組むことは社会全体のCO<sub>2</sub>等のGHG排出量の削減につながり、持続可能な社会形成に大きく貢献できる



### 自然の保全と再生・創出（ネイチャーポジティブ）

これまで「当たり前」に取り組んできた環境管理活動の継続に加え、水セキュリティ等のサプライチェーン全体で取り組むことで、未来の子どもたちに軽やかに豊かな社会を渡していくことができる

# 環境分野 3つのマテリアリティの関係

3つのマテリアリティそれぞれが独立する課題ではなく、互いに関連性を持ち、支え合い、融合する関係にあることで、UACJグループの目的「緑豊かな青い地球の持続可能な社会形成に貢献する」につながる



緑豊かな青い地球に感謝し  
アルミニウムを究めて  
持続可能な社会の形成に貢献

=

UACJグループの  
企業価値の向上



**自然の保全と再生・創出** (ネイチャーポジティブ)



**気候変動への対応**



**「アルミニウムの循環型社会」の牽引** (サーキュラーエコノミー)



# 自然の保全と再生・創出(ネイチャーポジティブ)

事業活動を通じ、様々な自然から恩恵を受け、同時に影響を与えていることを自覚し、  
自然から受けるリスクの回避・低減と、UACJグループだからできる自然の回復への貢献に努める



依存



影響



UACJ

- ✓ 事業で使用する水の供給
  - ✓ 梱包用木材の供給
  - ✓ 廃水の浄化
  - ✓ 洪水・津波等の緩和
  - ✓ 気候変動の緩和
- 等

- ✓ 水資源の消費
  - ✓ CO<sub>2</sub>等のGHG排出
  - ✓ 廃棄物
- 等

↑ サプライチェーンを通して関与

- ✓ ボーキサイト採掘による土地の改変
  - ✓ リサイクル率向上による気候変動の抑制
- 等

# ネイチャーポジティブへの取り組み例

UACJグループが取り組むネイチャーポジティブに関する主な活動には、  
既存の環境活動(土壌、大気等)に加え、「原料」「水」「森林」に関わるものが挙げられる  
自然の保全と再生・創出に関する活動がどのような影響や効果をもたらすかを把握しながら、取り組みを拡大

取り組み項目	得られる効果(例)
リサイクル原料の積極的な利用	<ul style="list-style-type: none"><li>● ボーキサイト採掘による土地改変の回避・低減</li><li>● 新地金使用量の低減</li><li>● 製品廃棄量の低減</li><li>● 生産プロセスにおけるGHG排出量の削減</li></ul>
水の循環利用	<ul style="list-style-type: none"><li>● 取水量の低減</li><li>● 水の循環利用の推進による、水リスクへの対応強化</li><li>● 水利用による生態系への影響の回避・低減</li></ul>
森林の積極的な保全	<ul style="list-style-type: none"><li>● 循環型資源である木材・木質資源の供給への貢献</li><li>● 炭素吸収量、固定量の増加</li><li>● 森林における自然再生・回復</li><li>● 森林による水源涵養</li></ul>





自然の保全と再生・創出 (ネイチャーポジティブ)



気候変動への対応



「アルミニウムの循環型社会」の牽引 (サーキュラーエコノミー)



# Scope3におけるCO<sub>2</sub>削減目標の設定

## Before

### 活動指針

- Scope1・2においては、2050年カーボンニュートラルへ挑戦
- Scope1・2においては、2030年度 30%の削減を目指す
- Scope3においては、サプライチェーンの様々なパートナーとの協業に取り組み、リサイクル最大化、かつ、サプライチェーン全体でのCO<sub>2</sub>排出最小化を目指す

## After

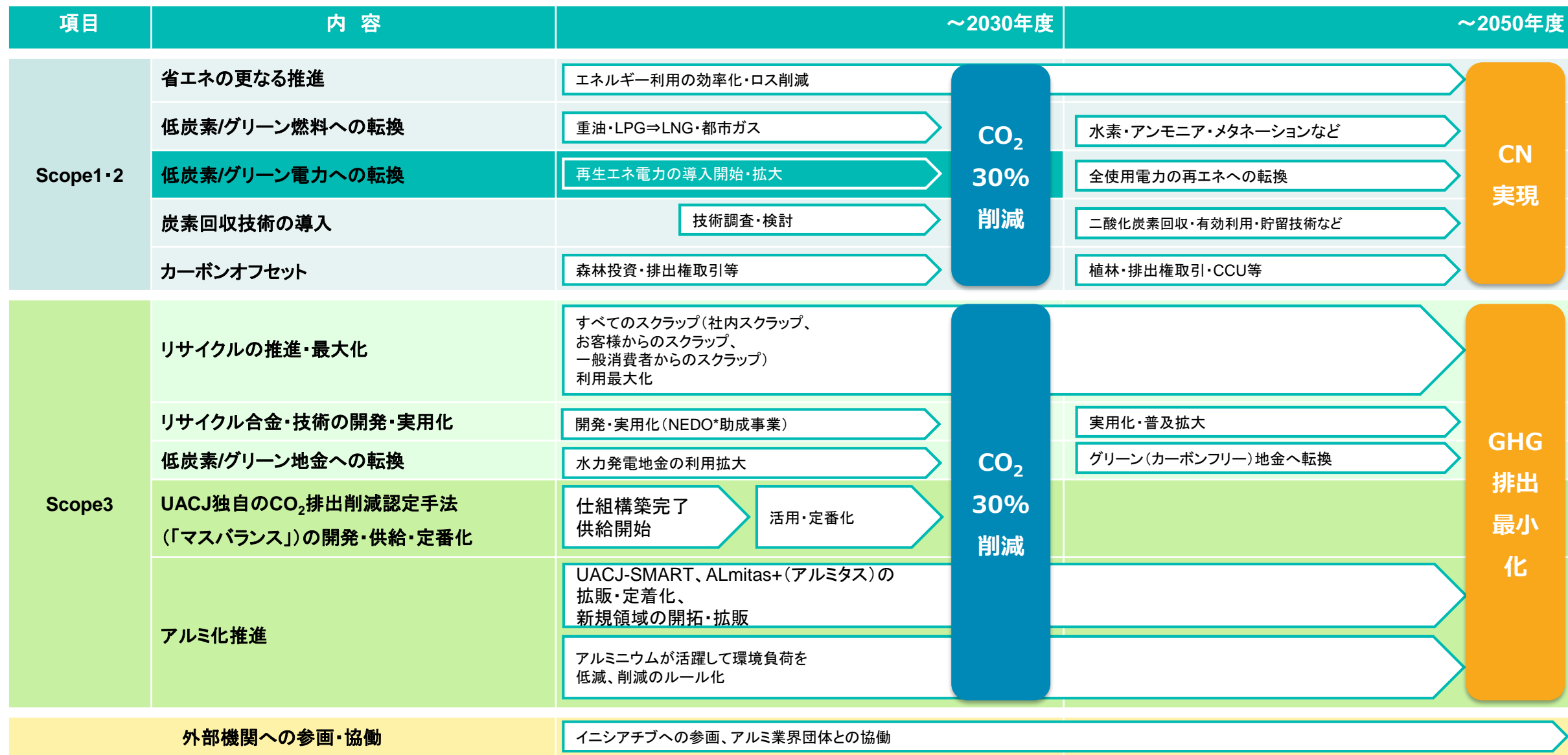
### 活動指針

- Scope1・2においては、  
2030年度は 30%削減<sup>\*1</sup>を目指し、2050年はカーボンニュートラルへ挑戦
- Scope3においては、  
✓ **2030年度はリサイクルの拡大等により30%削減<sup>\*2</sup>を目指し、**  
2050年はサプライチェーンの様々なパートナーとの協業に取り組み、  
リサイクル最大化、かつサプライチェーン全体でのCO<sub>2</sub>等のGHG排出削減活動を行い、GHG排出最小化を目指す

\*1 2019年度比・原単位

\*2 2019年度比・原単位、Category1(購入した製品・サービスを指す。原材料の調達、パッケージングの外部委託、消耗品の調達。)

# 気候変動対策推進のロードマップ



## 加工品の17拠点を「再エネ100%工場」へ

### ☀️ 再エネ電力100%工場の一覧(計17拠点)

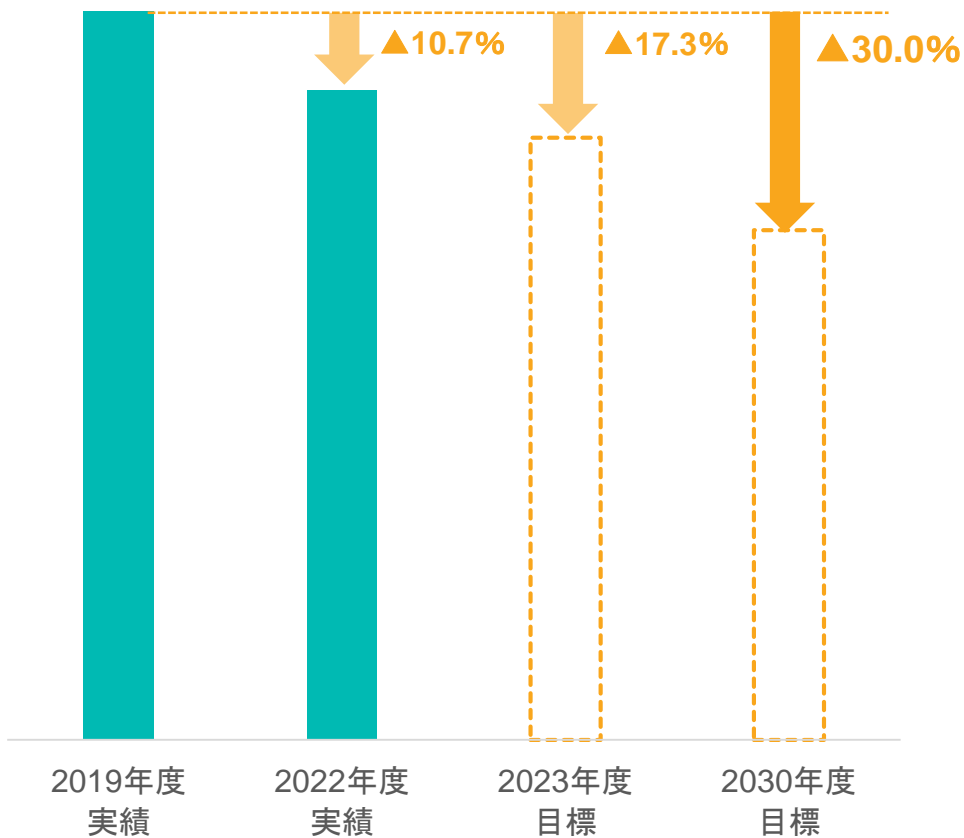
- 株式会社UACJ押出加工名古屋(安城製作所)
- 株式会社UACJ押出加工群馬
- 株式会社UACJ押出加工滋賀
- 株式会社UACJ鋳鍛(鋳鍛工場、鋳鍛第二工場)
- 株式会社UACJ金属加工  
(仙台工場、成田工場、恵那工場、滋賀工場、広島工場)
- 株式会社ナルコ郡山
- 株式会社UACJアルミセンター  
(宇都宮カラーアルミ工場、滋賀工場、奈良工場)
- 泉メタル株式会社
- 鎌倉産業株式会社
- 株式会社UACJ Marketing & Processing

- ☀️ 100%再生可能エネルギー由来の電力(以下「再エネ電力」)を年間約220GWh購入(2023年4月から実施)
- ☀️ UACJグループの国内主要17製造拠点をScope2のCO<sub>2</sub>排出量がゼロとなる「再エネ電力100%工場」へ
- ☀️ CO<sub>2</sub>排出量を年間約10万トン削減※を実現  
⇒UACJグループのScope2・CO<sub>2</sub>排出量の約20%に相当  
※一般家庭に換算した場合、約54,000世帯の年間排出量に相当

最終製品に近い製品の製造拠点から実施することで、顧客のScope3・CO<sub>2</sub>排出量削減にも貢献できる

# Scope1, 2における CO<sub>2</sub> 排出量削減実績と目標

CO<sub>2</sub>排出削減目標  
(Scope1, 2、2019年度比・原単位\*)



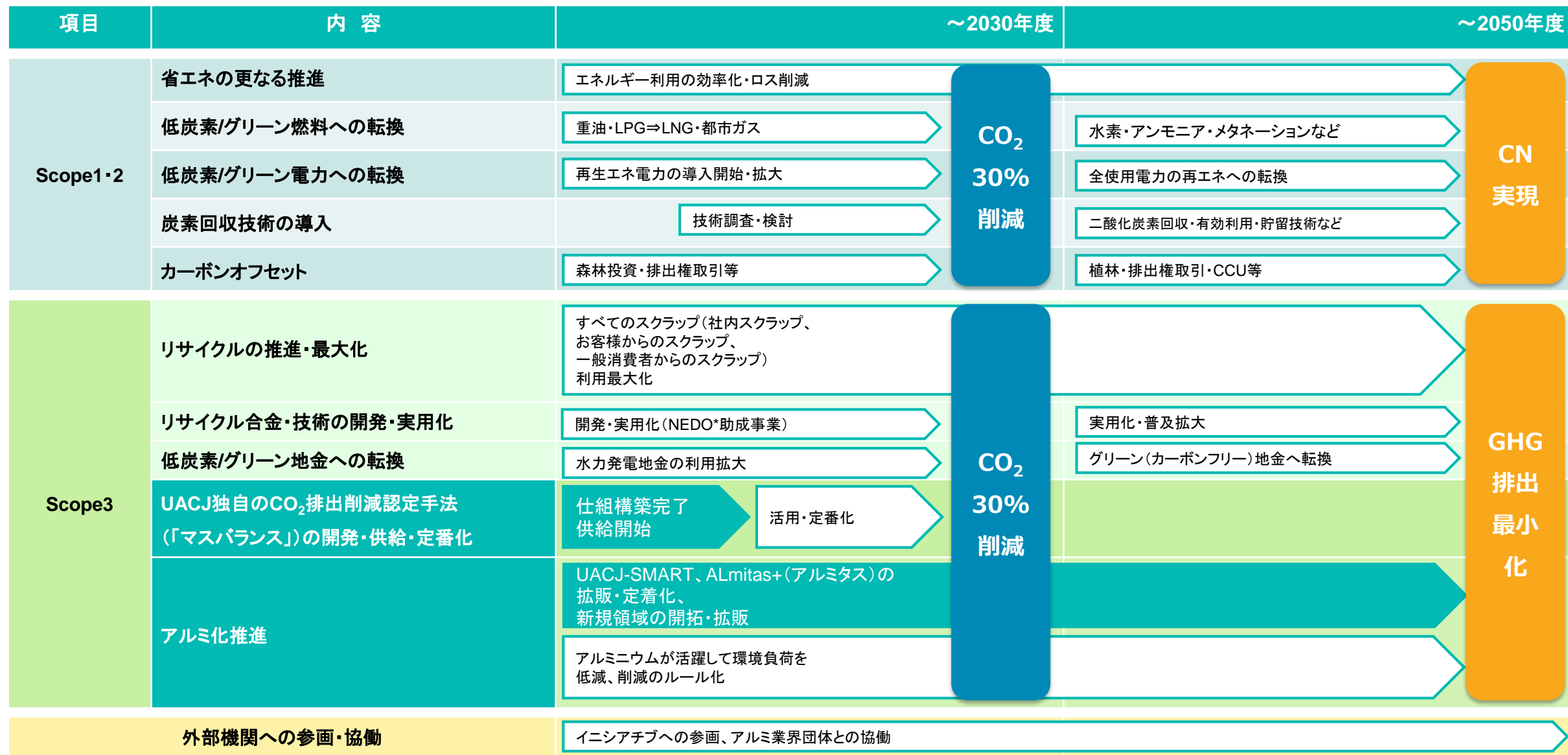
より積極的な施策を着実に実行し、  
2030年度におけるScope1, 2での 30%削減達成を目指す

- 省エネルギー化の一層の加速
  - CO<sub>2</sub>排出量の少ない燃料への転換
  - 再生可能エネルギーの導入促進
  - CO<sub>2</sub>削減に貢献する技術開発の推進
  - CO<sub>2</sub>削減に関するイニシアチブへの参画
  - 積極的な情報開示
- 等

対象拠点は、【国内】 UACJ(名古屋、福井、深谷),UACJ押出加工名古屋(名古屋、安城),UACJ押出加工小山、UACJ押出加工滋賀,UACJ押出加工群馬、UACJ製箔(滋賀、野木、伊勢崎)、UACJ鋳鍛,UACJアルミセンター(宇都宮カラーアルミ)、  
【海外】 UACJ (Thailand) Co., Ltd.、UACJ Extrusion Czech s.r.o.、UACJ Extrusion (Thailand) Co.,Ltd.、UACJ Foundry & Forging (Vietnam) Co., Ltd.、UACJ Foil Malaysia Sdn. Bhd.、UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc. (本社ミシガン地区、PADUCAH、SANMIGUEL、FLAGSTAFF)。

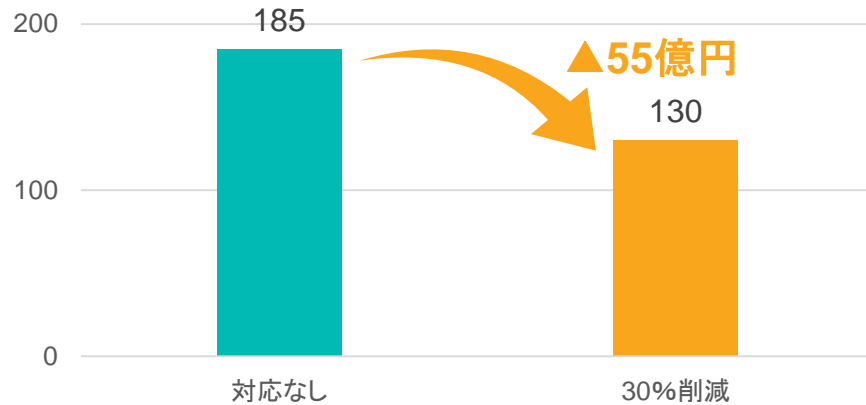
2019年度比・原単位。第6次エネルギー基本計画（経産省2021年）を用いて算出。

# 気候変動対策推進のロードマップ

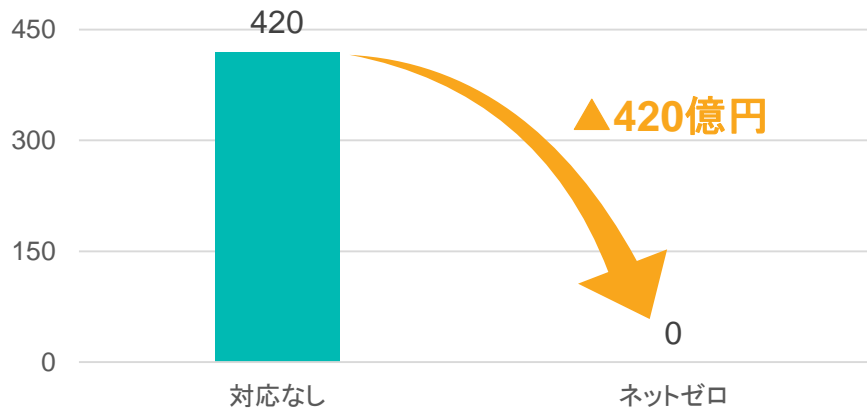


# TCFD リスク/機会の評価と対応策

2030年



2050年



## 炭素税の財務影響額試算

その他のTCFDにかかるリスク/機会の重要度評価と対応策は、UACJ Report 2023「サステナビリティの進化 環境対応活動」(p63-64)をご覧ください

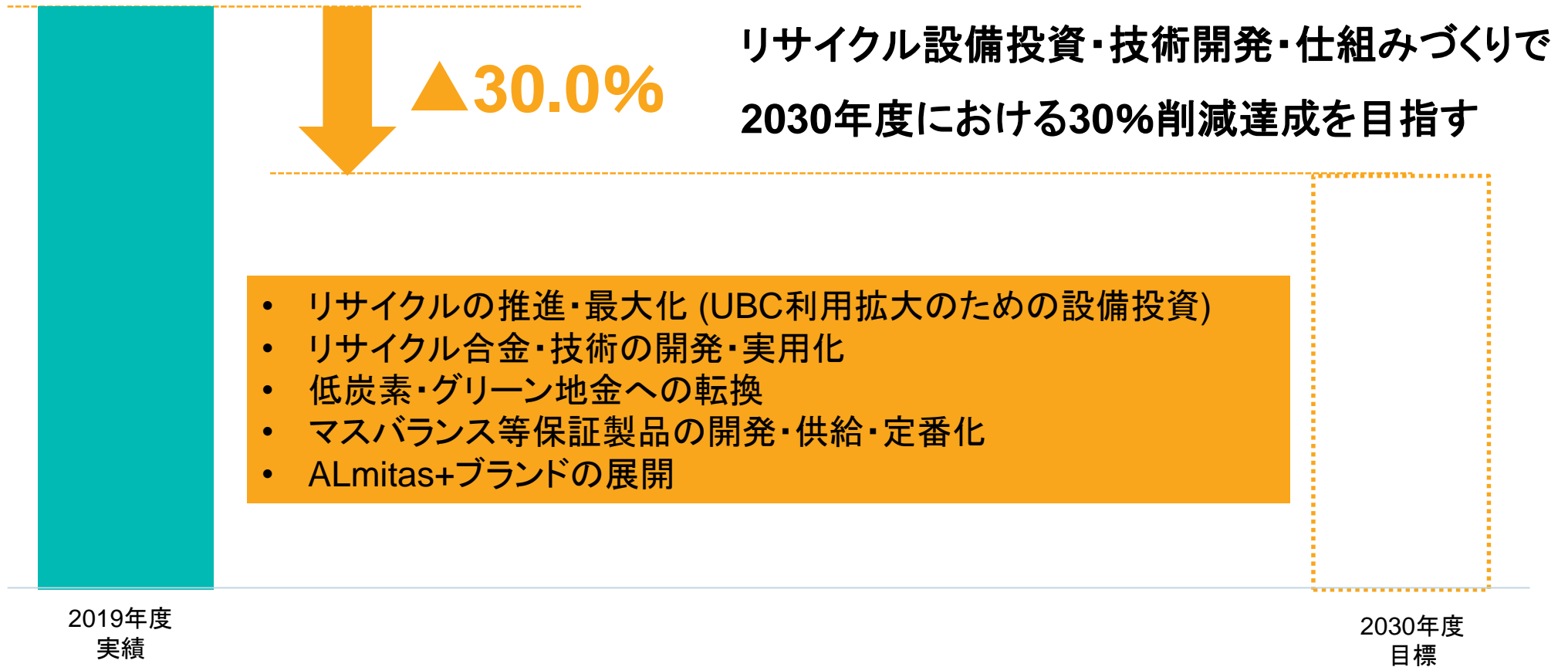
[https://www.uacj.co.jp/ir/library/pdf/2023/03\\_2023uacjr.pdf](https://www.uacj.co.jp/ir/library/pdf/2023/03_2023uacjr.pdf)

## 主なリスク/機会の評価と対応策

		炭素価格 (炭素税・国境炭素調整)	各国の炭素排出目標/政策 (排出量取引、カーボン・フット・プリントの報告義務化等)
事業インパクト	指標	収益支出	収益支出
	リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輸入原料・資材の調達コスト増加</li> <li>● 電力コスト増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 排出権買取費用による原料調達・製造コスト増加</li> <li>● アルミニウムスクラップ溶解炉や燃料転換、省エネ等の設備更新・導入等の費用の増加</li> <li>● カーボン・フット・プリントの記録・報告義務化にともなう、製造管理コストが増加</li> </ul>
対応策	機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● GHG排出量抑制が不十分な国・地域による製品の競争力低下に伴う当社製品販売機会と収益の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新地金(エネルギー集約型の原料)の調達を減らすことにより炭素税などのコスト軽減が可能</li> <li>● 規制強化により、他素材からの切り替え需要が増加</li> <li>● アルミニウムの軽量性や高熱効率、リサイクル率の高さを生かした収益増加の機会</li> </ul>
	評価	大	中
対応策	区分	適応	
	リスク対応策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長期的なCO<sub>2</sub>排出量削減目標の設定</li> <li>● 長期的なエネルギー使用量削減目標の設定</li> <li>● インターナルカーボンプライシングの導入</li> </ul>	
	機会の取り込み施策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長期的なCO<sub>2</sub>排出量削減施策の実施</li> <li>● 森林等のCO<sub>2</sub>の吸収とクレジット制度の活用</li> <li>● 削減貢献量の評価方法構築</li> <li>● 脱炭素に向けた、官民連携・国際協力による省エネ技術の移転</li> </ul>	

# Scope3 における CO<sub>2</sub> 排出量削減実績と目標

CO<sub>2</sub>排出削減目標  
(Scope 3、2019年度比・原単位\*)



\*Category1(原材料)における。

対象拠点は、【国内】 UACJ(名古屋、福井、深谷), UACJ押出加工名古屋(名古屋、安城), UACJ押出加工小山, UACJ押出加工滋賀, UACJ押出加工群馬、  
【海外】 UACJ (Thailand) Co., Ltd、 UACJ Australia Pty. Ltd.





自然の保全と再生・創出 (ネイチャーポジティブ)



気候変動への対応

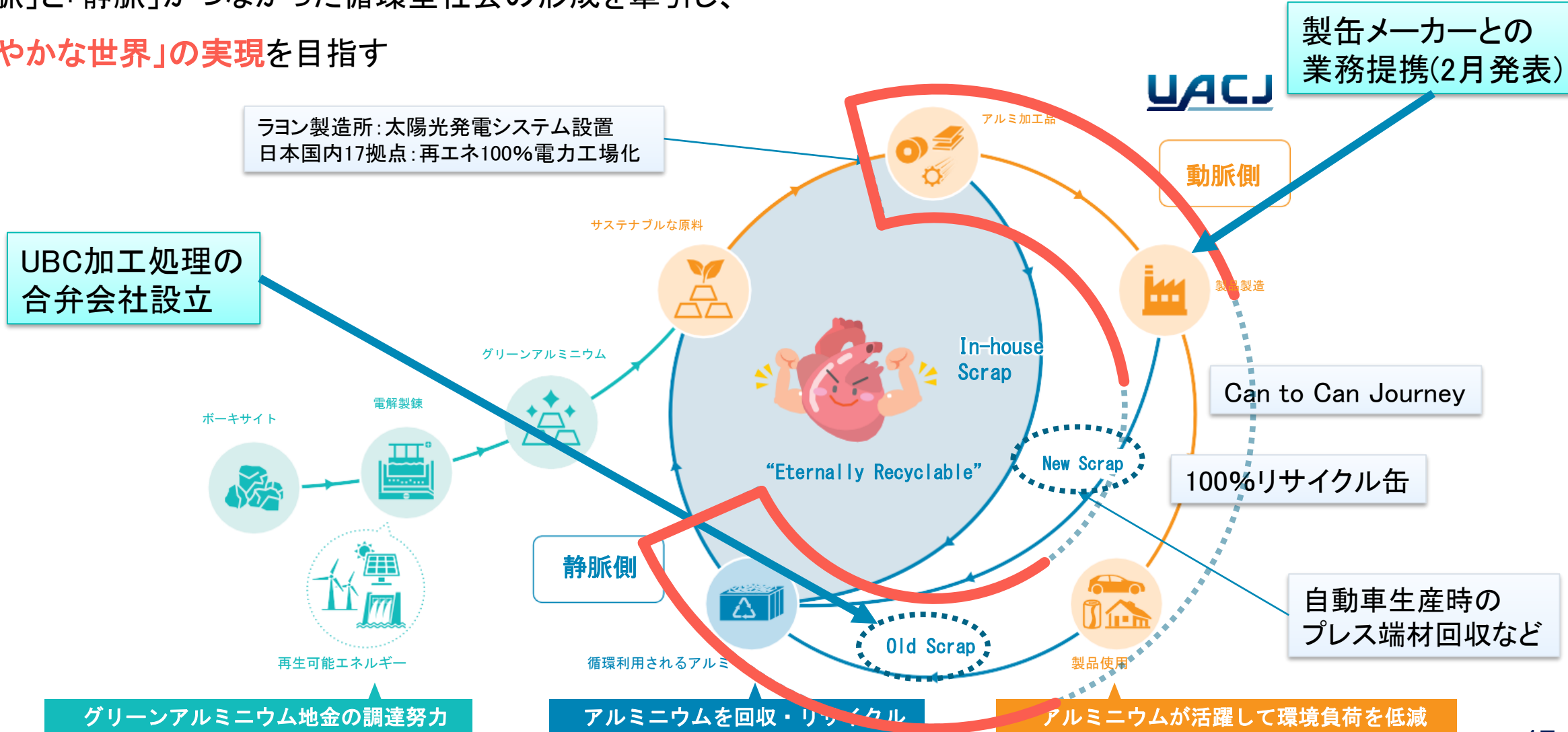


「アルミニウムの循環型社会」の牽引 (サーキュラーエコノミー)



# 「アルミニウムの循環型社会」を牽引する存在へ

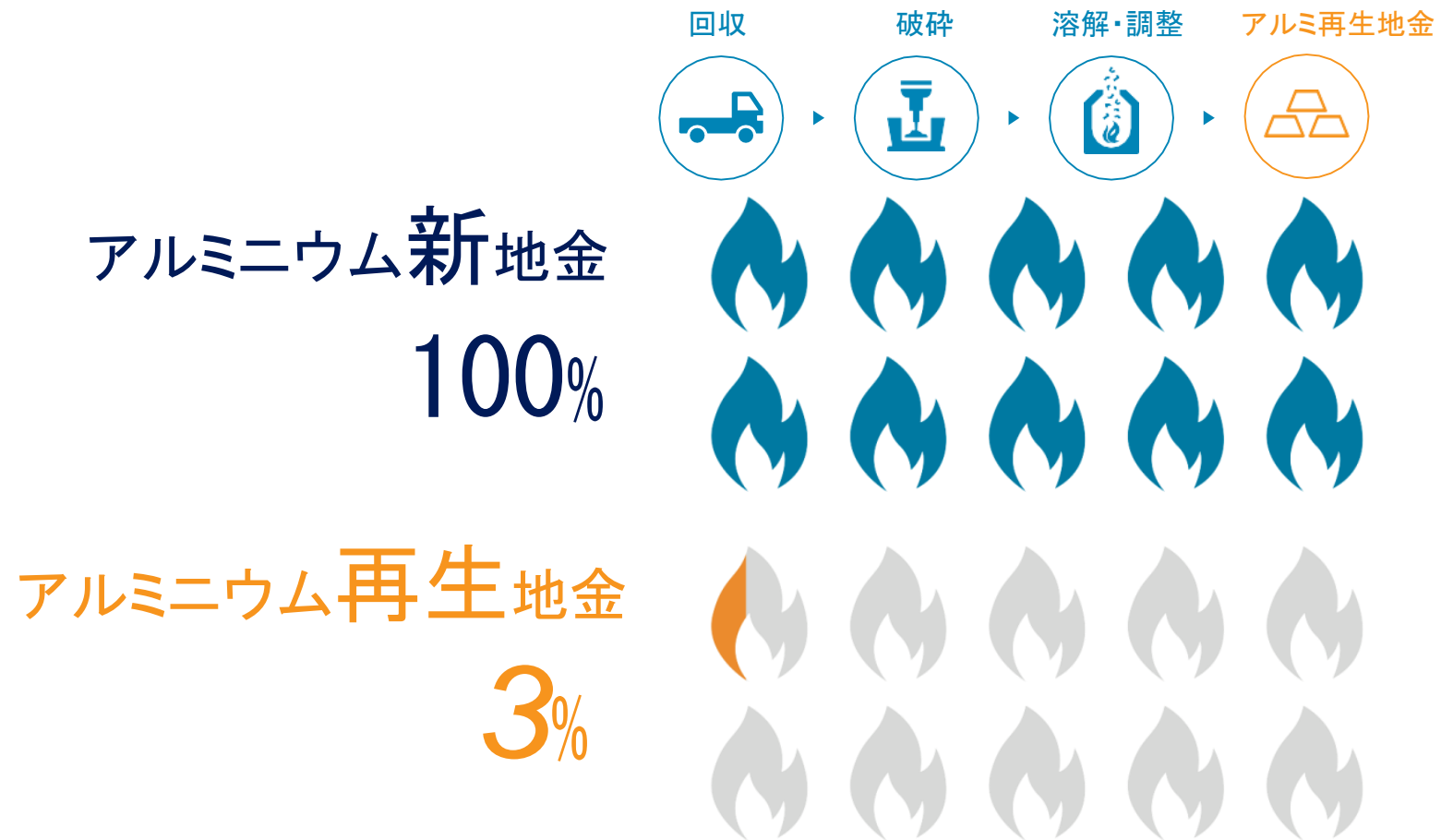
「動脈」と「静脈」がつながった循環型社会の形成を牽引し、  
**「軽やかな世界」の実現**を目指す



# アルミ新地金とアルミ再生地金を得る時のエネルギーの違い

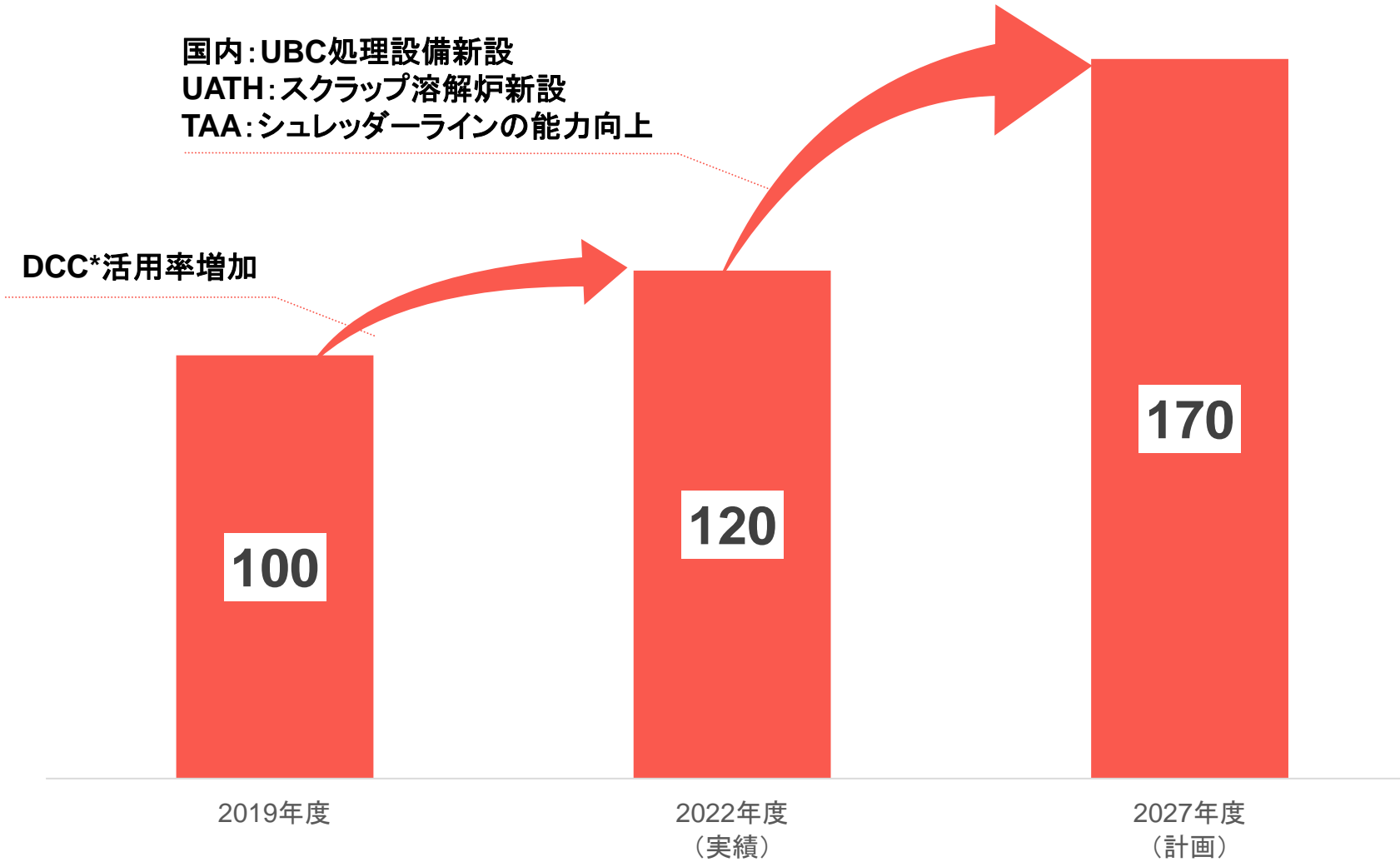
鉱石から取り出されたアルミニウム（金属）はわずかなエネルギーで再溶解できる

## アルミ再生地金の製造工程とGHG排出量



出所：日本アルミニウム協会

# 使用済みアルミ缶(UBC)の活用量について



UATH:スクラップ溶解炉建屋



TAA:シュレッダーライン

日本・UATH・TAAにおける2019年度UBC活用量実績を100としたときの各年度の推移

# UACJのリサイクル率(循環アルミの使用率)の定義と目標

UACJグループでは、アルミニウムの資源循環性を示す当社指標として「**UACJリサイクル率<sup>\*1</sup>**」を定義。

明確な目標値を掲げ、グループ一丸となってサーキュラーエコノミーの実現に向けて取り組んでいく

<sup>\*1</sup> 社内における資源循環の活動目標を示すものであり、個別製品毎の指標を表すものではありません

## ● 「UACJリサイクル率」算出の定義

$$\frac{\text{循環アルミ量}}{\text{溶解炉への装入量}} \times 100$$

“循環アルミ量”とは

- ・PIRスクラップ<sup>\*2</sup>
- ・PCRスクラップ<sup>\*3</sup>
- ・当社社内の全工程で発生するスクラップ

を合算した値

“溶解炉での装入量”とは

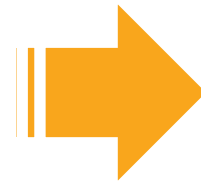
- ・アルミニウム新地金、添加金属
- ・PIRスクラップ
- ・PCRスクラップ
- ・当社社内の全工程で発生するスクラップ

を合算した値

## ● 「UACJリサイクル率<sup>\*1\*4</sup>」目標

2019年度実績値

65%



2030年度目標値

80%

<sup>\*1</sup> 純アルミ(1000系、8000系)材を除く

<sup>\*2</sup> PIRスクラップ Post-Industrial Recycled スクラップ。製造業での素材の加工段階で発生するスクラップ

<sup>\*3</sup> PCRスクラップ Post-Consumer Recycled スクラップ。使用済製品に由来するスクラップ

<sup>\*4</sup> 対象拠点は、【国内】 UACJ(名古屋、福井、深谷),UACJ押出加工名古屋(名古屋),UACJ押出加工小山、【海外】 UACJ(Thailand) Co., Ltd.

# UACJグループがリサイクルを推進する意義

UACJグループの「リサイクル推進」とは

⇒ **溶解段階における新地金の使用量を低減すること**

アルミニウムのリサイクル推進がかなえる「軽やかな世界」

「アルミニウムの  
循環型社会」の牽引  
(サーキュラーエコノミー)

- アルミニウムの利活用を拡大し、資源循環の輪を広げる
- 当社グループ内外を問わず、スクラップを最大限活用することは、新地金の使用量を最小化し、それとともに同一製品へのアルミニウムの循環(水平リサイクル)を促進

気候変動への対応

- リサイクルの推進により、CO<sub>2</sub>等のGHG排出量を削減  
(再生した原料を活用するために必要なエネルギーは、新地金を活用するときに比較して最大3%)

自然の保全と再生・創出  
(ネイチャーポジティブ)

- 新地金の使用抑制により、新たなボーキサイトの採掘を抑制でき、自然への影響を軽減

**UACJだからこそできる、アルミニウムのリサイクル推進に取り組む**

# 美しく豊かな地球がずっと続く未来へ





*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界